

山梨県における 中小企業の労働事情

山梨県中小企業団体中央会

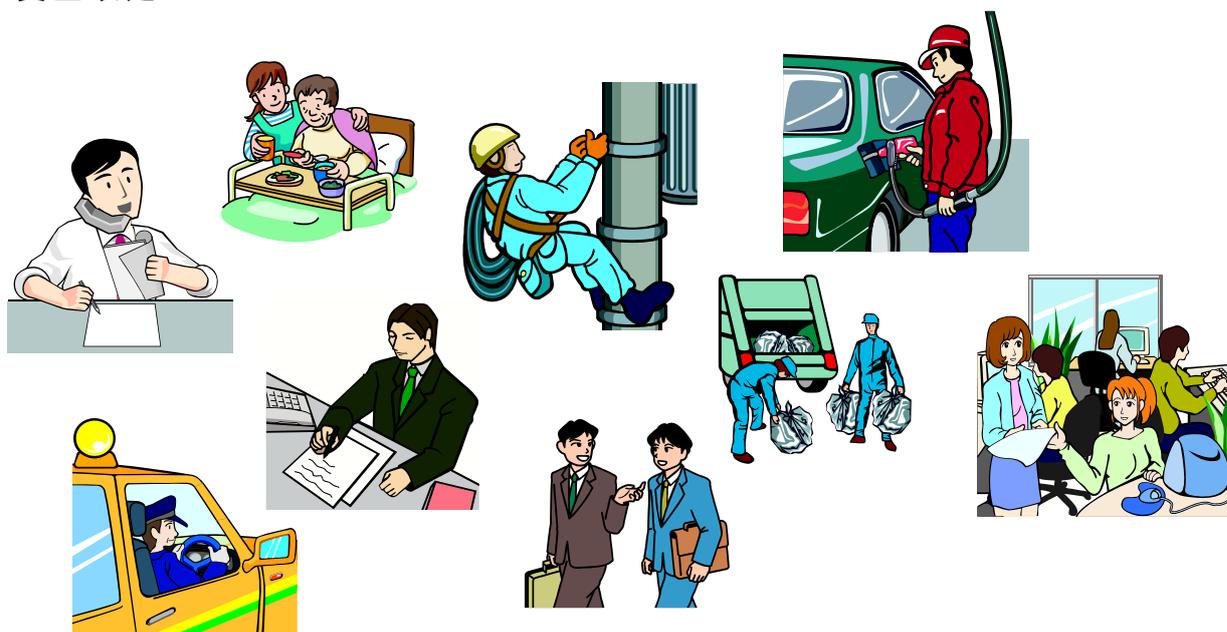
本調査は、中小企業における労働事情を的確に把握し、適正な中小企業労働対策の樹立並びに時宜を得た中央会労働支援方針の策定に資することを目的として、全国一斉に全国中小企業団体中央会が毎年1回実施しているものです。これは、本調査の内から山梨県内の事業所分の集計結果をまとめたものです。

(調査時点 平成22年7月1日)

I. 回答事業所の概要

II. 調査結果の内容

1. 経営について
2. 従業員(パートタイム労働者を除く)の労働時間について
3. 従業員の有給休暇について
4. 障害者雇用について
5. 高年齢者の雇用について
6. 最低賃金引き上げについて
7. 新規学卒者の採用について
8. 賃金改定について



Ⅱ. 回答事業所の概要

1. 回答事業所の内訳

調査時点：平成22年7月1日現在

調査対象数：600事業所（製造業330事業所、非製造業270事業所）

有効回答数：224事業所（製造業118事業所、非製造業106事業所）

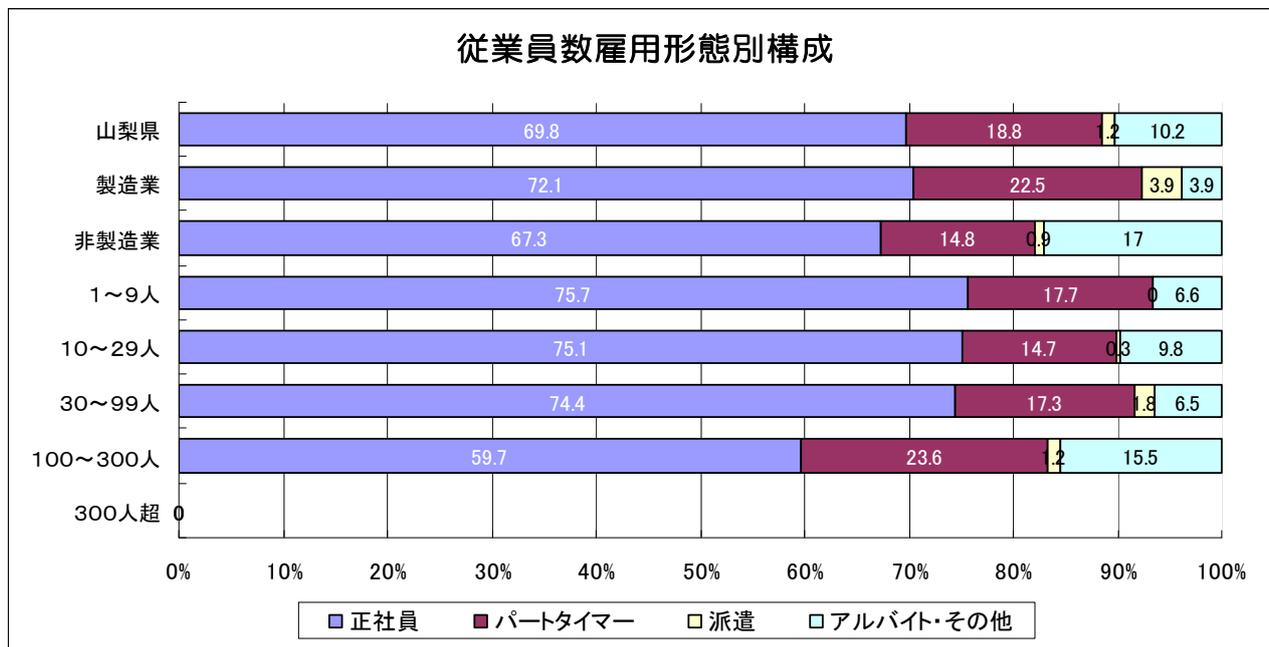
回答率：37.4%

(1) 業種別・規模別回答事業所数

	事業所数	内 訳			
		1～9人	10～29人	30～99人	100～300人
全業種	224(100.0)	78(34.8)	83(37.1)	52(23.2)	11(4.9)
製造業	118(100.0)	36(30.5)	46(39.0)	31(26.3)	5(4.2)
食料品	26(100.0)	6(23.1)	9(34.6)	8(30.8)	3(11.5)
繊維工業	14(100.0)	8(57.1)	5(35.7)	1(7.1)	-
木材・木製品	6(100.0)	3(50.0)	3(50.0)	-	-
印刷・同関連	5(100.0)	1(20.0)	3(60.0)	-	1(20.0)
窯業・土石	15(100.0)	2(13.3)	9(60.0)	4(26.7)	-
化学工業	-	-	-	-	-
金属、同製品	8(100.0)	1(12.5)	2(25.0)	5(62.5)	-
機械器具	12(100.0)	3(25.0)	1(8.3)	8(66.7)	-
その他	32(100.0)	12(37.5)	14(43.8)	5(15.6)	1(3.1)
非製造業	106(100.0)	42(39.6)	37(34.9)	21(19.8)	6(5.7)
情報通信業	1(100.0)	-	1(100.0)	-	-
運輸業	14(100.0)	2(14.3)	5(50.0)	4(28.6)	1(7.1)
建設業	47(100.0)	24(51.1)	16(34.0)	6(12.8)	1(2.1)
卸売業	4(100.0)	1(25.0)	2(50.0)	-	1(25.0)
小売業	15(100.0)	9(60.0)	2(13.3)	4(26.7)	-
サービス業	25(100.0)	6(24.0)	9(36.0)	7(28.0)	3(12.0)

(2) 従業員雇用形態別構成

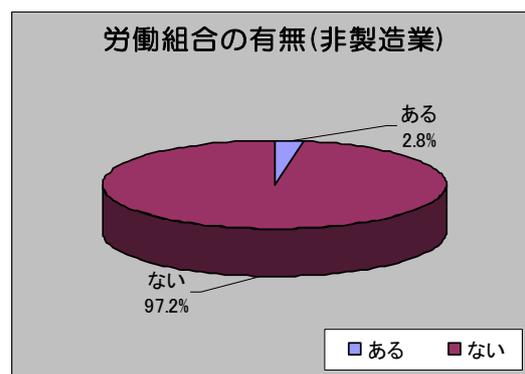
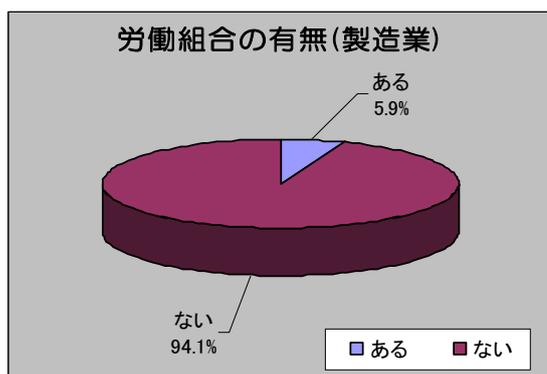
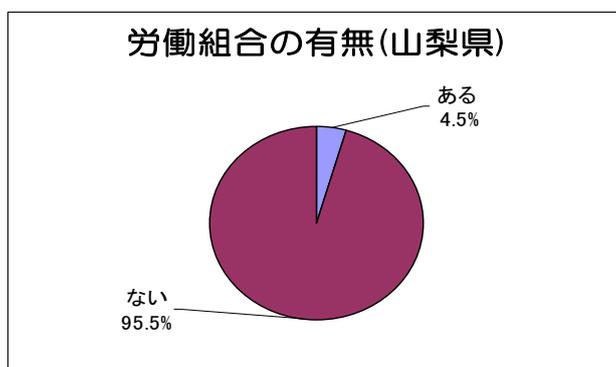
従業員の雇用形態は、「正社員」が69.8%、「パートタイム労働者」が18.8%、「派遣」が1.2%、「アルバイト・その他」が10.2%となっている。製造業での「正社員」の割合が高くなっている。また、従業員規模別では、「100～300人」で、「パートタイム労働者」・「アルバイト・その他」の割合が高くなっている。



(3) 労働組合の有無

224事業所のうち、労働組合があると回答した事業所は4.5%（10事業所）、「ない」と回答した事業所は95.5%（214事業所）であった。

「ある」と回答した事業所の内訳を業種別でみると、製造業が5.9%（7事業所）、非製造業が2.8%（3事業所）となっている。

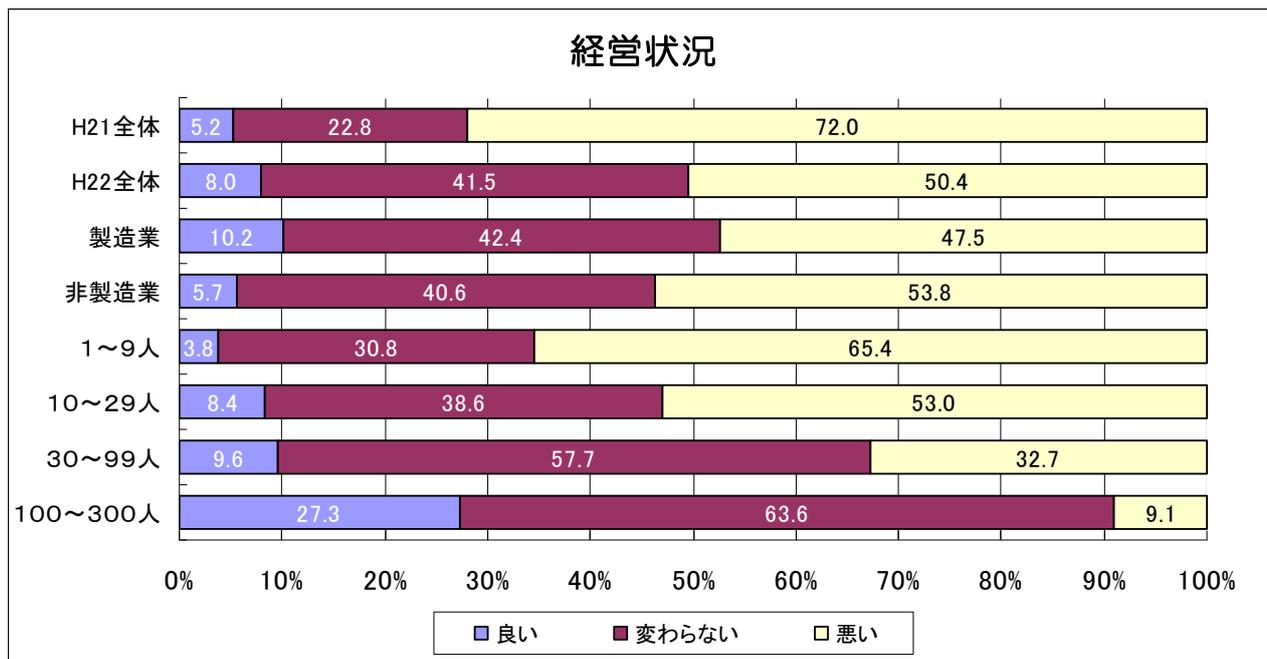


IV. 調査結果の内容

1. 経営について

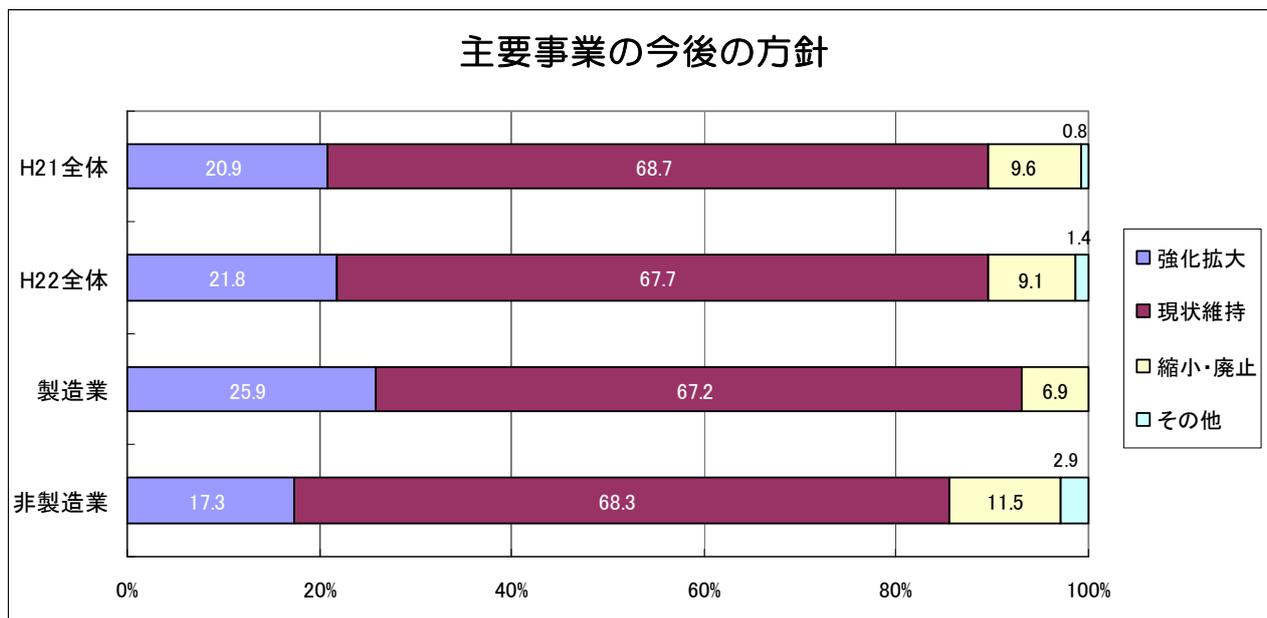
(1) 経営状況

経営状況は、「良い」が8.0%、「変わらない」が41.5%、「悪い」が50.4%となっており、前回調査に比べ、「良い」が2.ポイント増、「変わらない」が18.7ポイント増、「悪い」が21.6ポイント減となった。この結果、「悪い」の割合が減少しており、昨年に比べ経営状況は改善傾向にあるとみられる。業種別では、製造業・非製造業とも「悪い」の割合が高いことは高いが、昨年に比べると「悪い」の割合が減少しており、両者とも経営が改善していることがうかがえる。



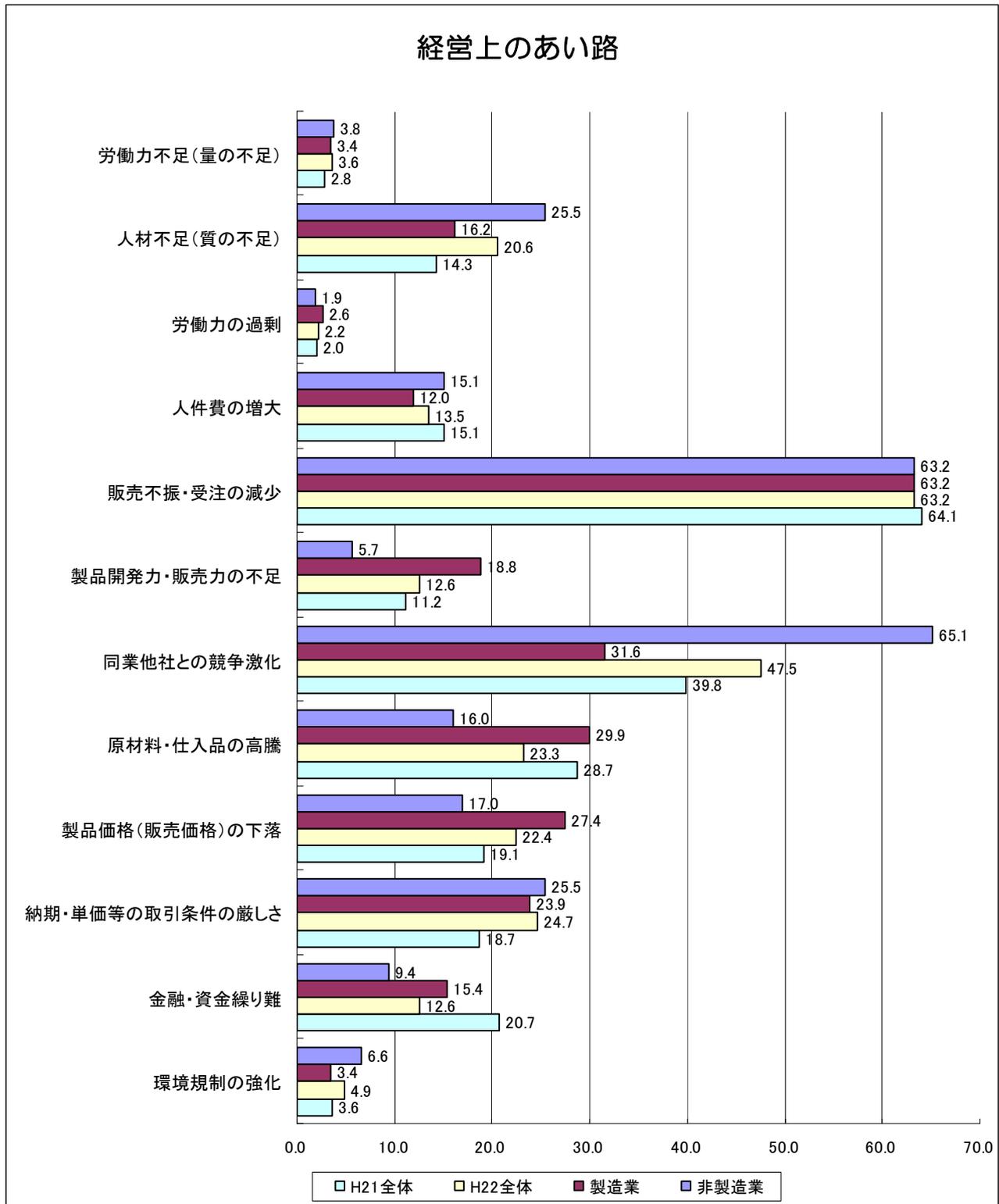
(2) 主要事業の今後の方針

主要事業の今後の方針は、67.7%と前回調査(H21年度)と変わりなく、「現状維持」が高い割合での回答であった。



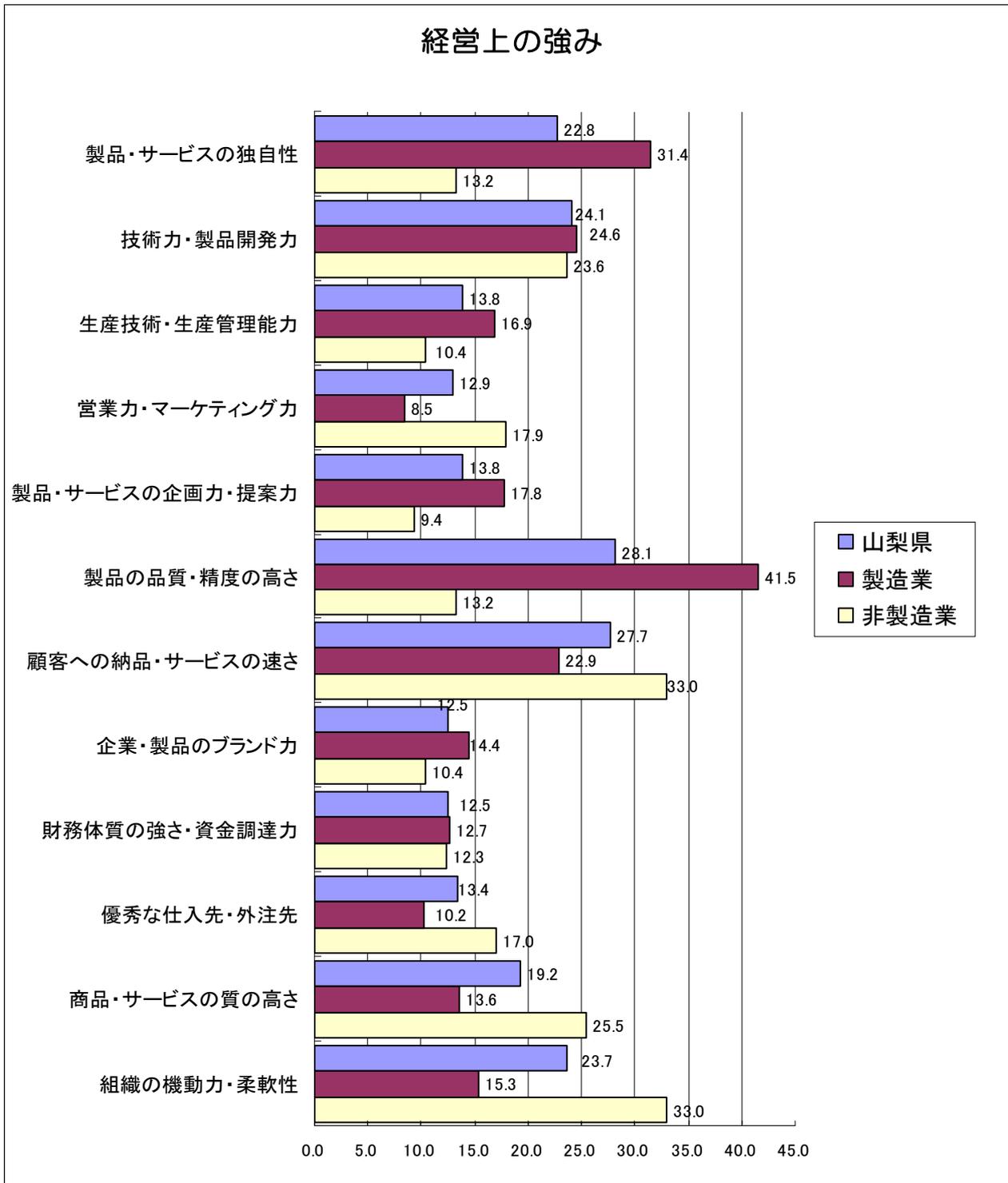
(3) 経営上のあい路(3つ以内で選択)

経営上のあい路は、「販売不振・受注の減少」が63.2%、「同業他社との競争激化」が47.5%、「納期・単価等の取引条件の厳しさ」が24.7%、「原材料・仕入品の高騰」が23.3%、「製品価格(販売価格)の下落」が22.4%、「人材不足(質の不足)」が20.6%の順となっており、特に「製品開発力・販売力の不足」は前回調査に比べ12.6ポイントと大幅に減少しており、製品開発や販売の力はあるが、販売不振や受注の減少により、それを使い切れない状況にあることがうかがえる。



(4) 経営上の強み(3つ以内で選択)

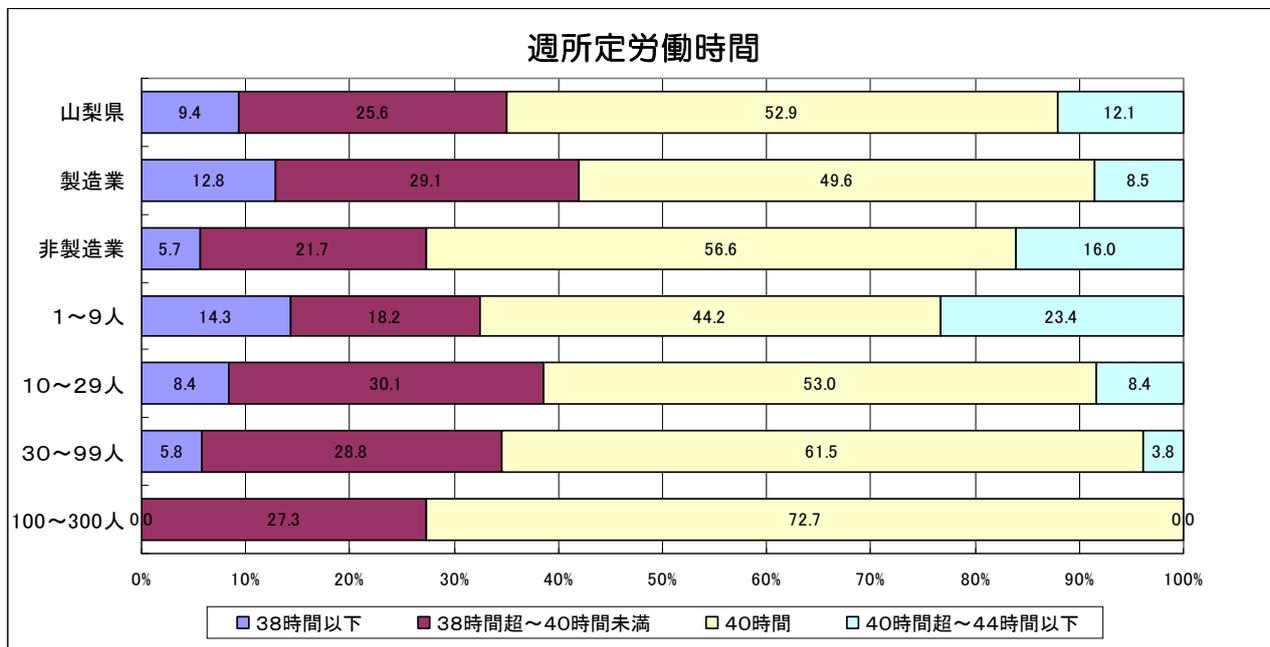
経営上の強みは、「製品の品質・精度の高さ」が28.1%、「顧客への納品・サービスの速さ」が27.7%、「技術力・製品開発力」が24.1%、「組織の機動力・柔軟性」が23.7%、「製品・サービスの独自性」が22.8%となっており、中小企業にもIT化が進み、品質とスピードが企業の強みとなってきている。また、「製品の品質・精度の高さ」、「技術力・製品開発力」が上位を占めており、デフレが進む中、価格だけではない技術や品質で活路を見いだしている企業が多いものとおもわれる。業種別でみると、製造業では「製品の品質・精度の高さ」が41.5%、非製造業では「顧客への納品・サービスの速さ」「組織の機動力・柔軟性」が33.0%で上位を占めており、それぞれの業種の強みとなっている。



2. 従業員（パートタイム労働者を除く）の労働時間について

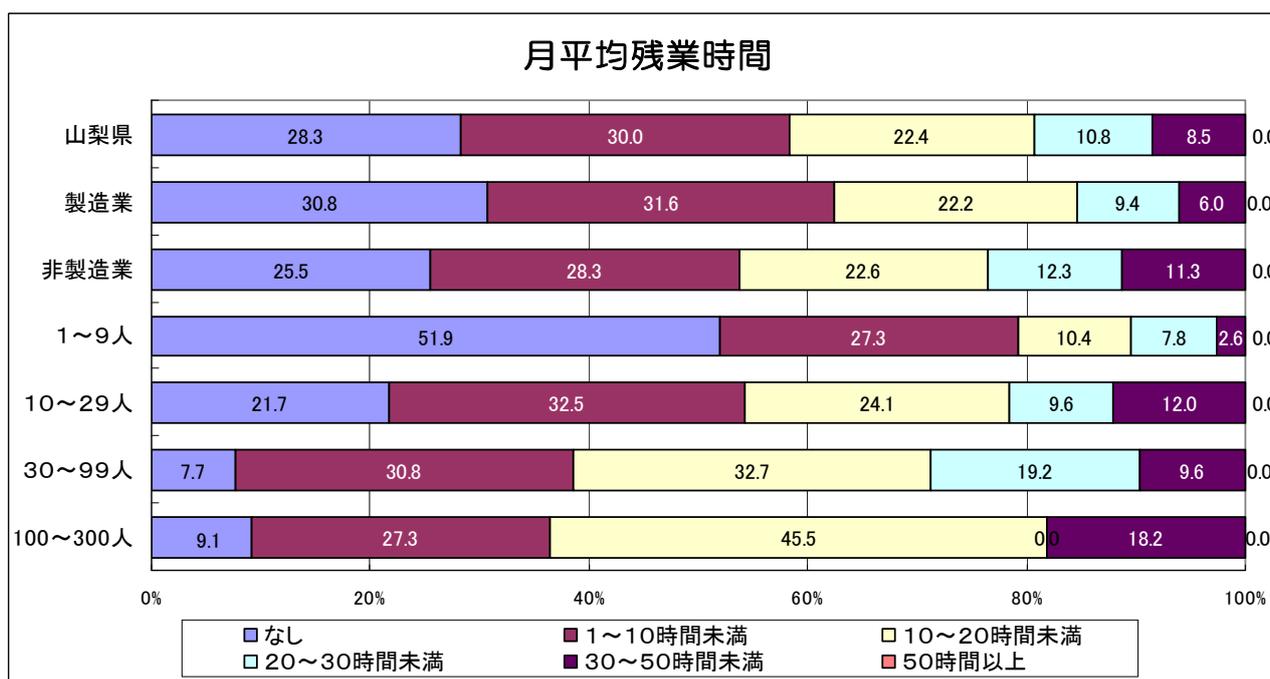
(1) 従業員 1 人あたりの週所定労働時間

週所定労働時間は、業種全体では「40 時間」が 52.9%、「38 時間超～40 時間未満」が 25.6%、「40 時間超～44 時間以下」が 12.1%、「38 時間以下」が 9.4%の順となっている。なお、非製造業に比べ製造業では、景気低迷により週所定労働時間が短くなっている。



(2) 従業員 1 人当たりの月平均残業時間

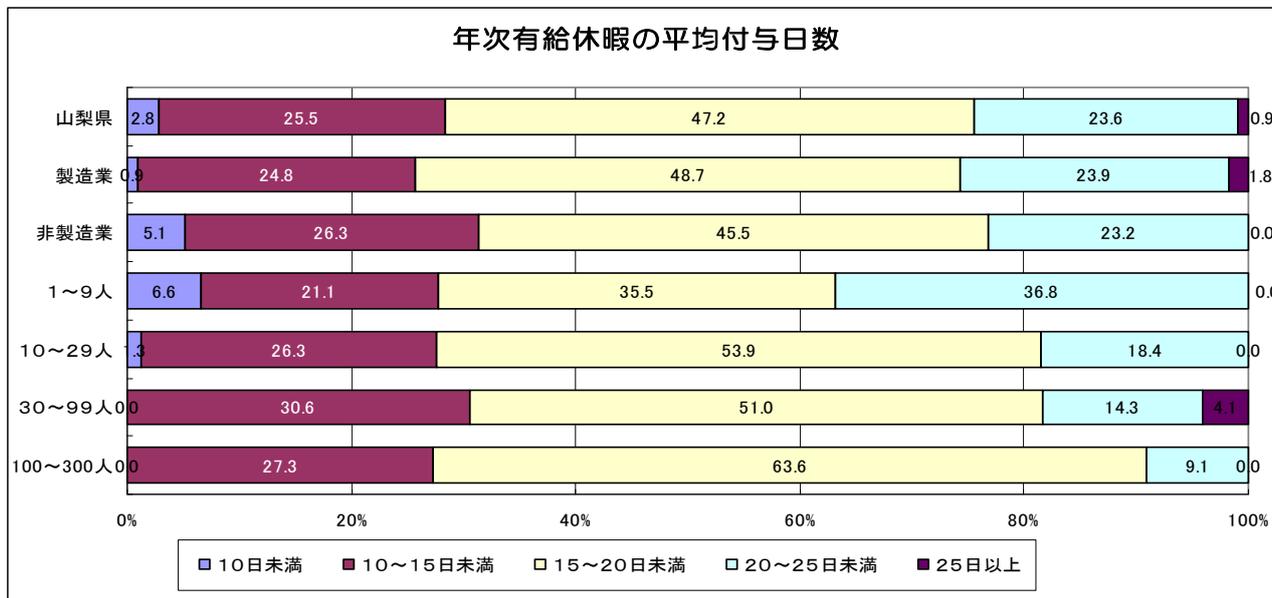
月平均の従業員 1 人当たりの残業時間をみると、「1～10 時間未満」が 30.0%、「残業なし」が 28.3%、「10～20 時間未満」が 22.4%、「20～30 時間未満」が 10.8%、の順となっており、30 時間を超える事業所割合は 8.5%となっている。従業員規模別では、月平均残業時間が「10 時間未満」の割合では、企業規模が小規模な事業所ほど月平均残業時間が少なくなっており、従業員数が「1～9 人」の事業所では、半数以上が「残業なし」と回答している。企業規模が小規模な事業所では、残業をさせていないと考えられる。



3. 従業員の有給休暇について

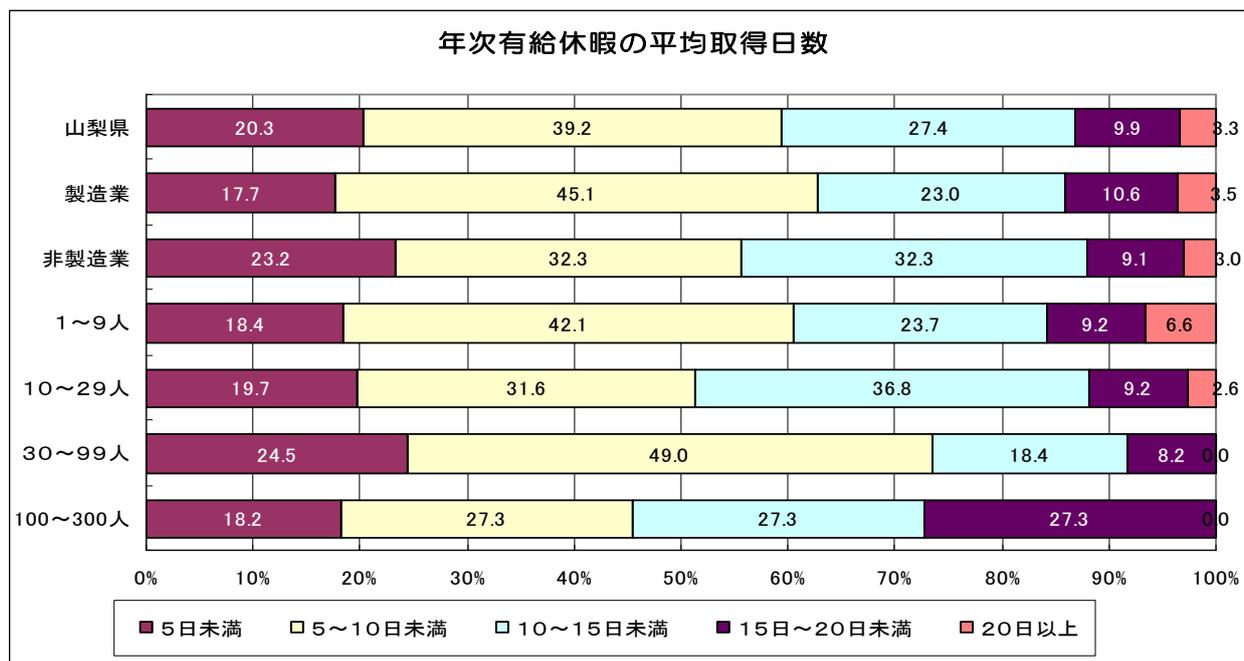
(1) 従業員 1 人当たりの年次有給休暇の平均付与日数

年次有給休暇の平均付与日数では、「15～20日未満」が47.2%、「10～15日未満」が25.5%、「20～25日未満」が23.6%、「10日未満」が2.8%、「25日以上」が0.9%の順となっている。山梨県全体における年次有給休暇の平均付与日数は、16.05日となっており、全国平均の15.34日に比べ0.71日多くなっている。また、従業員規模別では、1～9人の事業所において半数以上が年次有給休暇を20日以上付与している。



(2) 従業員 1 人当たりの年次有給休暇の平均取得日数

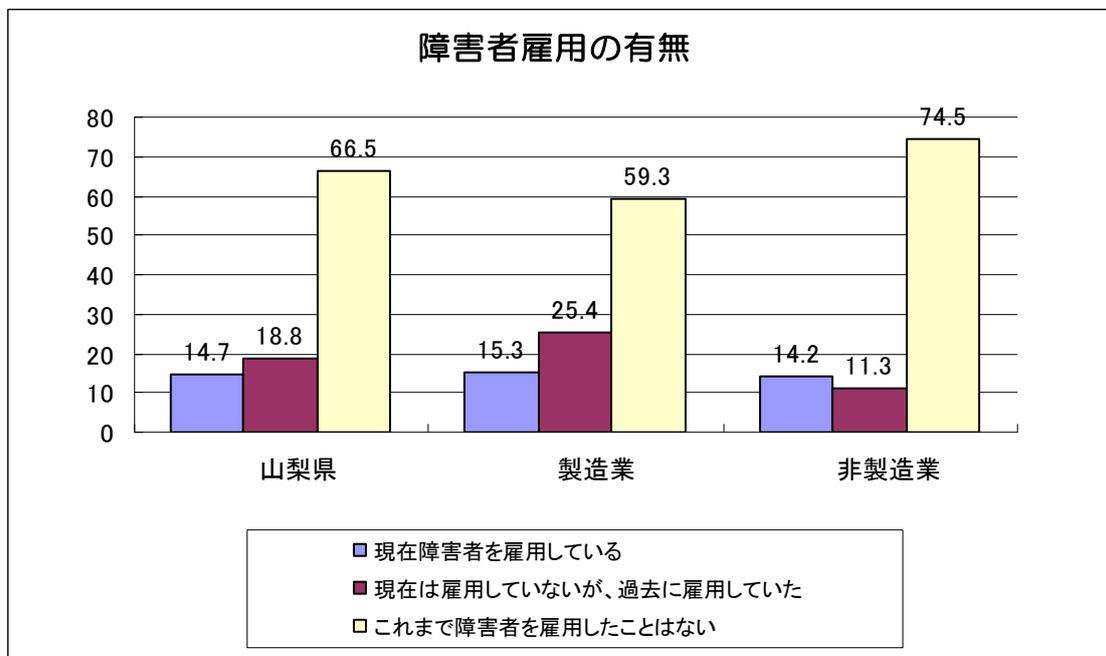
年次有給休暇の平均取得日数は、「5～10日未満」が39.2%、「10～15日未満」が27.4%、「5日未満」が20.3%、「15～20日未満」が9.9%、「20日以上」が3.3%の順となっている。規模別では、「30～99人」の事業所では「10～15日未満」の割合が大きくなっている。業種別では、製造業に比べ、非製造業における「10日以上」の年次有給休暇の平均取得日数の割合が高くなっている。



4. 障害者雇用について

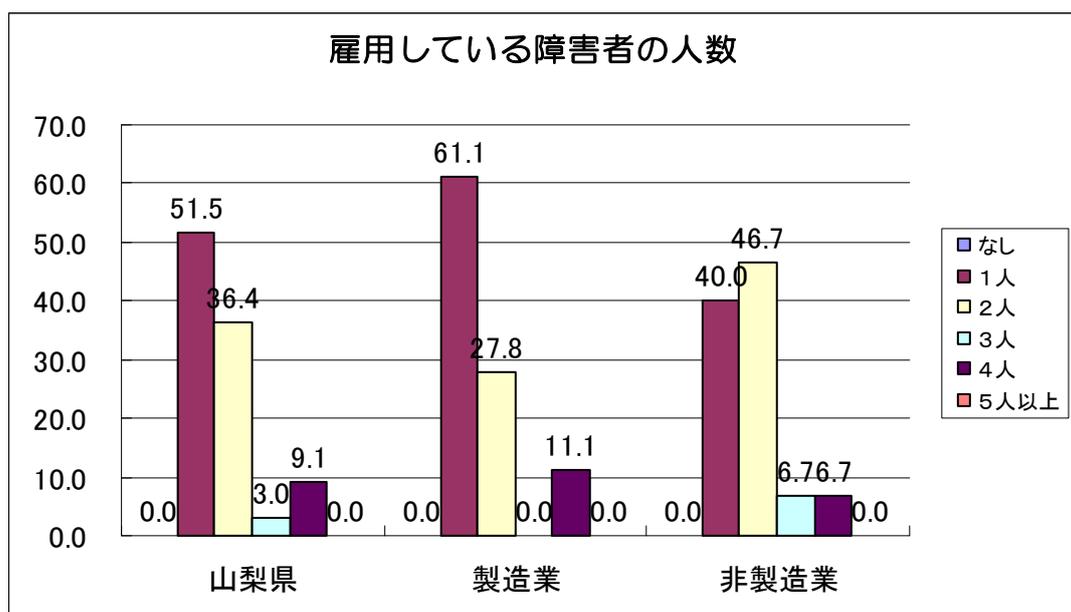
(1) 障害者の雇用状況

障害者の雇用状況は、「これまで障害者を雇用したことはない」が 66.5%、「現在は雇用していないが、過去に雇用していた」が 18.8%、「現在は雇用している」が 14.7%となっている。企業の半数以上が障害者の雇用を行ったことがないことがわかった。一方で、現在・過去において、障害者の雇用を行ったことのある企業も 33.5%いることがわかった。



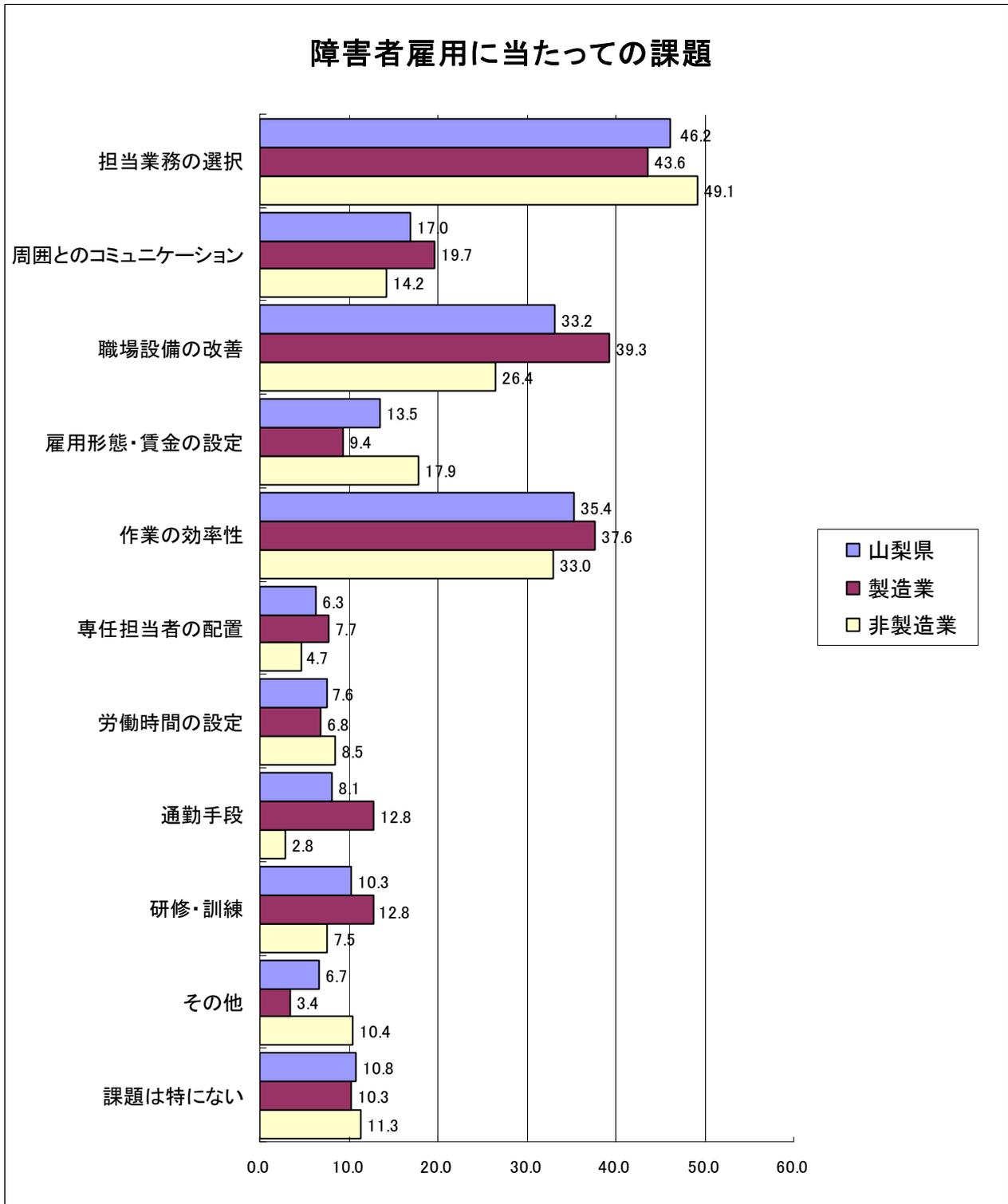
(2) 雇用している障害者の人数

雇用している障害者の人数は、「1人」が最も多く 51.5%、「2人」が 36.4%、「4人」が 9.1%、「3人」が 3.0%となっている。半数以上が、「1人」は採用しているが、「なし」「5人以上」については 0%と障害者の雇用状況の厳しさがうかがえる。



(3) 障害者雇用にあたっての課題(3つ以内で選択)

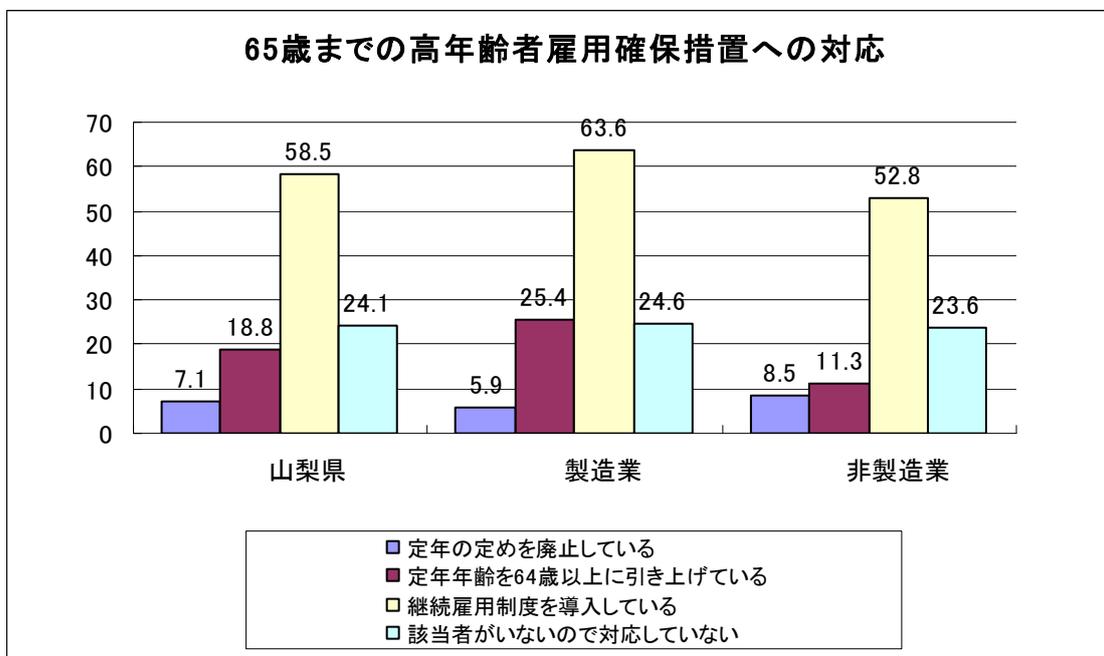
障害者を雇用するにあたっての課題は、「担当業務の選択」が46.2%、「作業の効率性」が35.4%、「職場設備の改善」が33.2%、「周囲とのコミュニケーション」が17.0%の順となっている。業種別では、製造業・非製造業ともに「担当業務の選択」が半数近くを占めている。



5. 高齢者の雇用について

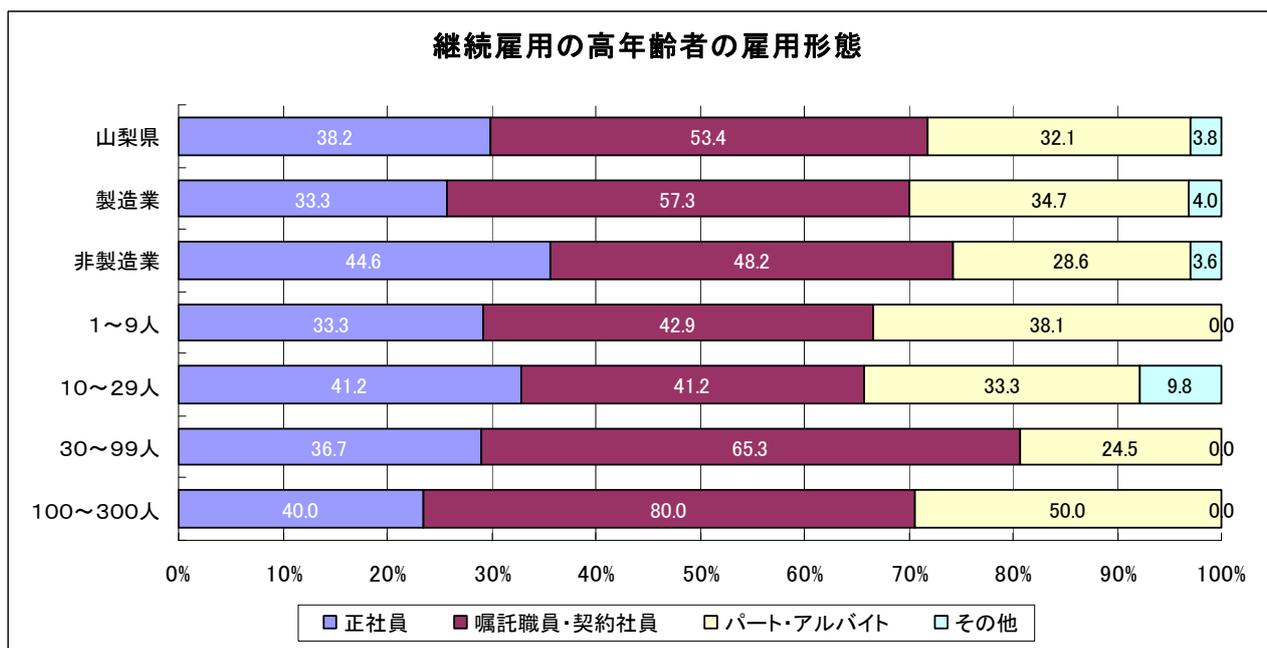
(1) 65歳までの高齢者雇用確保措置への対応状況

高齢者雇用確保措置への対応状況は、「継続雇用制度を導入している」が58.5%、「該当者がいないので対応していない」が24.1%、「定年年齢を64歳以上に引き上げている」が18.8%となっている。企業の半数以上が高齢者雇用に対して何らかの措置を講じていることがうかがわれる。



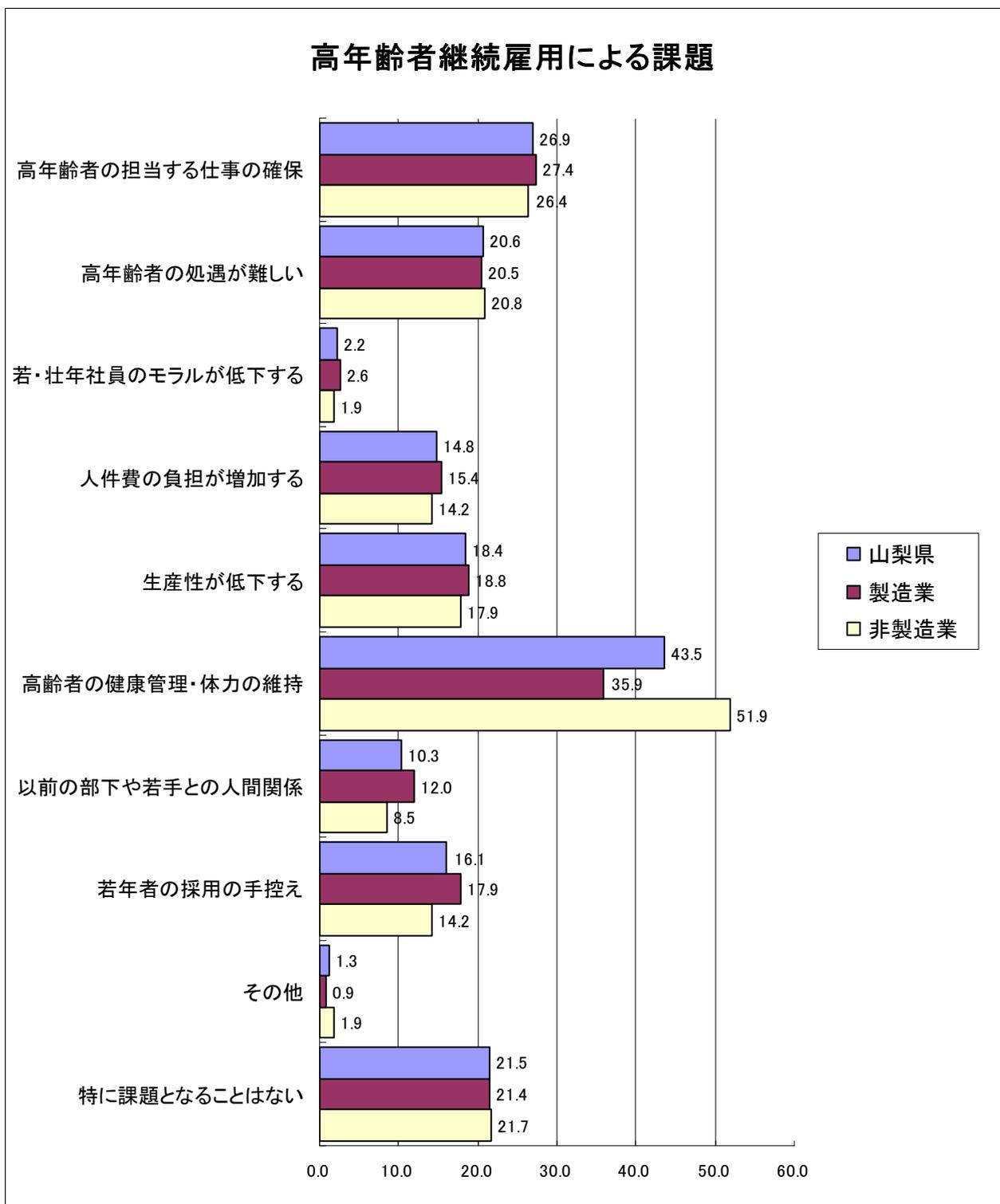
(2) 継続雇用の高齢者の雇用形態（該当するものすべてを選択）

継続雇用の高齢者の雇用形態は、「嘱託職員・契約社員」が53.4%、「正社員」が38.2%、「パート・アルバイト」が32.1%となっており、半数近くが職員として勤務していることがうかがえる。規模別では、「100～300人」で「嘱託職員・契約社員」が80.0%と最も高い回答となっている。



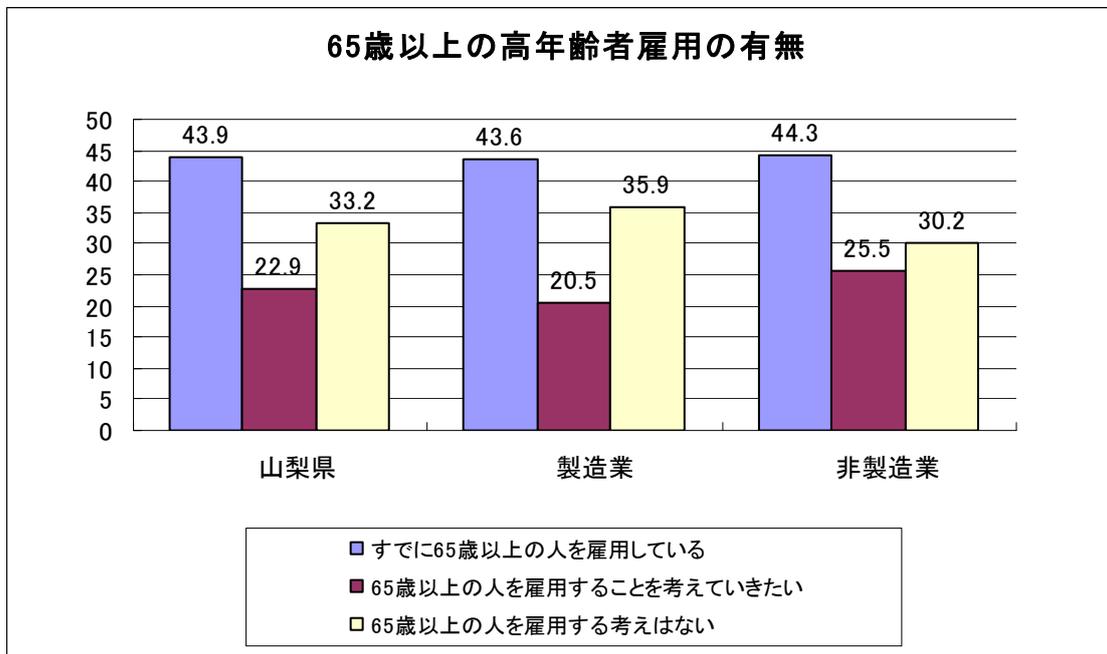
(3) 高齢者継続雇用による課題(3つ以内で選択)

高齢者継続雇用による課題は、「高齢者の健康管理・体力維持」が43.5%、「高齢者の担当する仕事の確保」が26.9%、「特に課題となることはない」が21.5%、「高齢者の処遇が難しい」が20.6%の順となっている。業種別では、非製造業で「高齢者の健康管理・体力維持」が51.0%で半数以上を占めている。



(4) 65歳以上の高年齢者の雇用状況

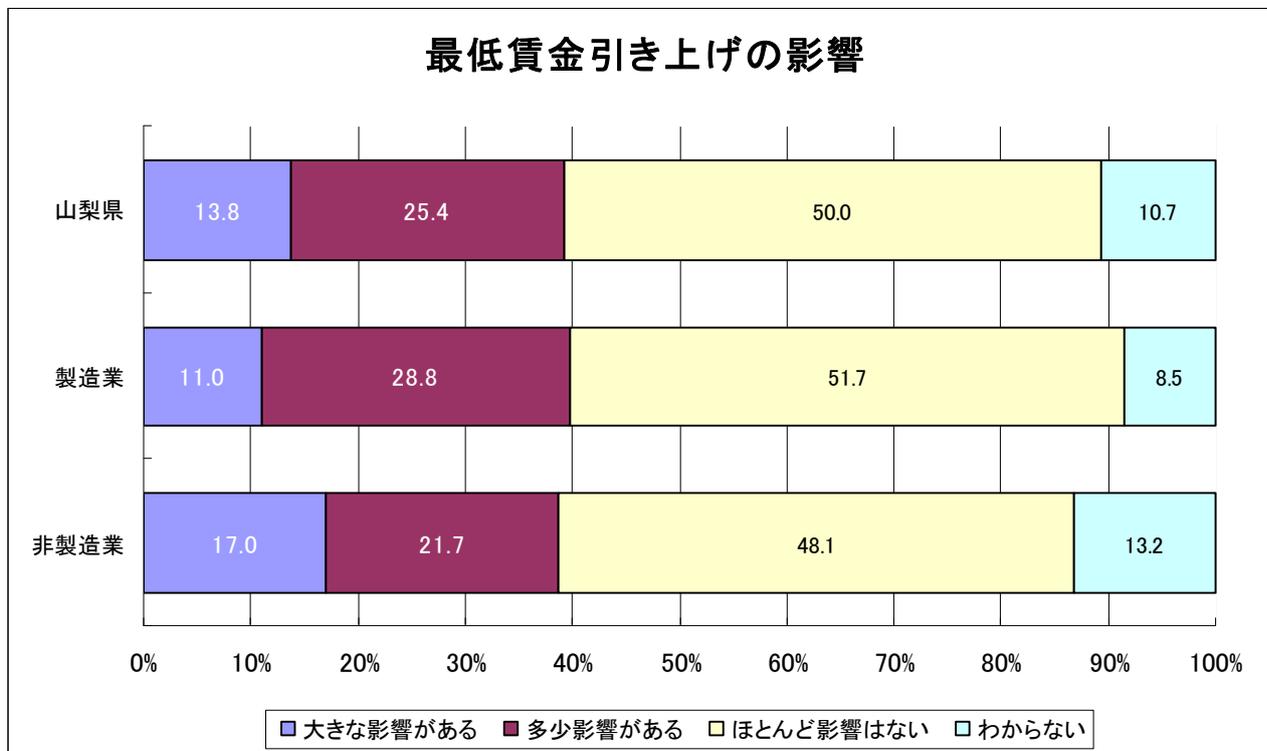
65歳以上の高年齢者の雇用状況は、「すでに65歳以上の人を雇用している」が43.9%、「65歳以上の人を雇用する考えはない」が33.2%、「65歳以上の人を雇用することを考えていきたい」が22.9%となっている。業種別では、製造業・非製造業ともに、半数近くがすでに高年齢者の雇用を行っていることがわかった。



6. 最低賃金引き上げについて

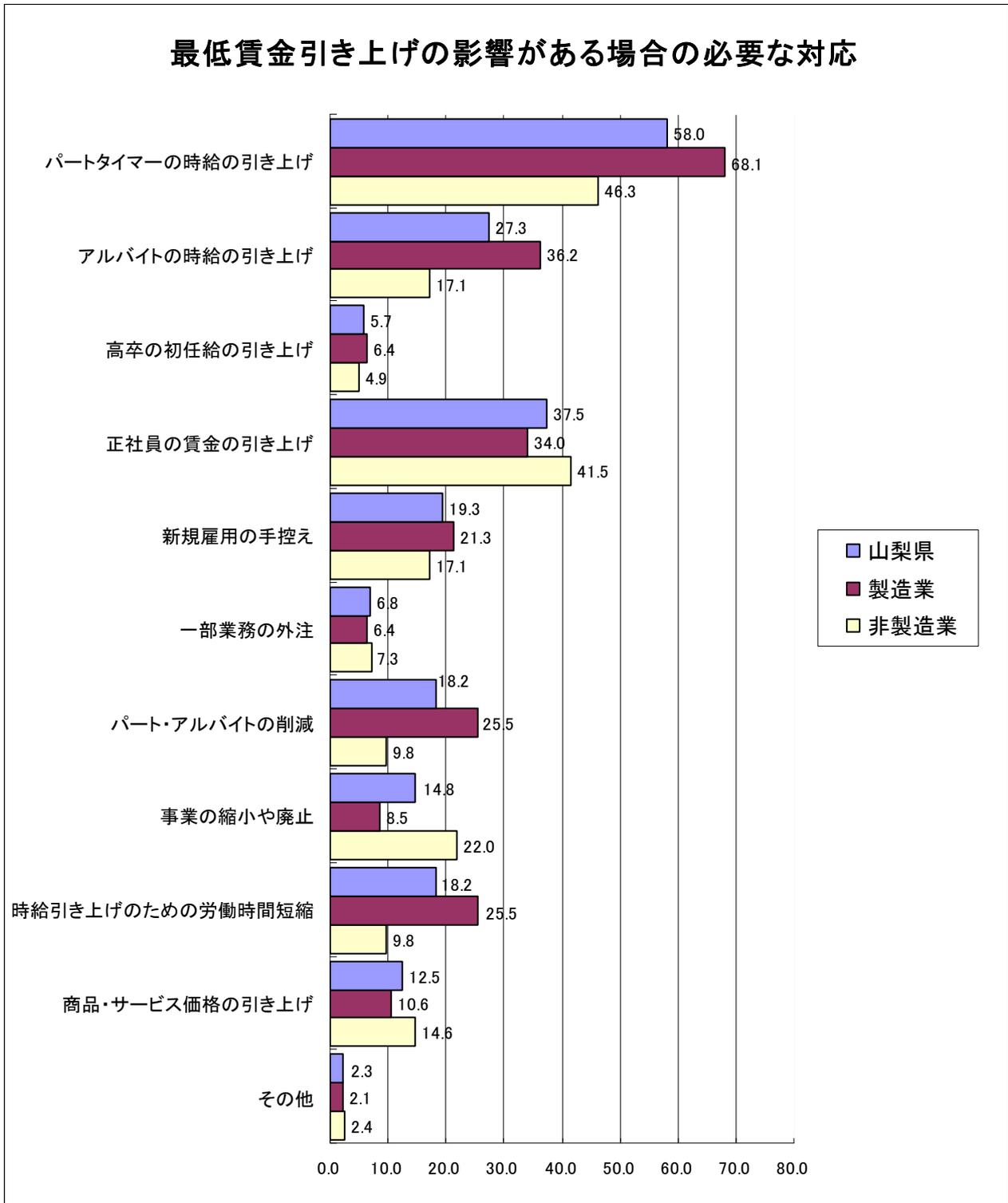
(1) 最低賃金引き上げの影響

政府では最低賃金の全国一律時給 800 円以上への引き上げ議論を行っているが、このことが中小企業の経営にどの程度の影響を与えるかを調査し、本県では、最低賃金引き上げの影響は、「ほとんど影響はない」が半数を占めてはいるが、「大きな影響がある」と「多少影響がある」を合わせると 39.2%と、事業に何らかの影響があると考えられる。



(2) 最低賃金引き上げの影響がある場合の必要な対応（該当するものすべてを選択）

最低賃金引き上げの影響がある場合の必要な対応は、「パートタイマーの時給の引き上げ」が58.0%、「正社員の賃金の引き上げ」が37.5%、「アルバイトの時給の引き上げ」が27.3%、「新規雇用の手控え」が19.3%の順となっている。業種別では、製造業、非製造業ともに「パートタイマーの時給の引き上げ」が半数以上を占めている。



7. 新規学卒者の採用について

(1) 新規学卒者の初任給(単純平均)

平成 22 年 3 月新規学卒者(第 2 新卒者、中途採用者を除く)の 1 人当たりの平均初任給額(平成 22 年 6 月支給額)は、「高校卒」で技術系 166,547 円・事務系 162,800 円、「専門学校卒」で技術系 163,395 円・事務系 161,875 円、「短大(含高専)卒」で事務系 164,200 円、「大学卒」で技術系 204,850 円・事務系 189,187 円となっている。技術系・事務系ともに、「大学卒」の初任給が他を大きく離している。

新規学卒者の初任給(単純平均)

	高 校 卒		専 門 学 校 卒		短大(含高専)卒		大 学 卒	
	技術系	事務系	技術系	事務系	技術系	事務系	技術系	事務系
山 梨 県	166,547	162,800	163,395	161,875	-	164,200	204,850	189,187
製 造 業	158,179	150,000	159,527	166,000	-	164,200	-	187,280
非 製 造 業	173,869	171,333	175,000	157,750	-	-	204,850	193,000
1 ~ 9 人	-	-	-	127,500	-	170,000	-	-
10 ~ 29 人	169,040	150,000	155,000	165,000		-	213,900	177,000
30 ~ 99 人	170,334	171,333	161,790	177,500	-	158,400	-	176,698
100 ~ 300 人	120,000	-	175,000	-	-	-	195,800	251,330

(2) 新規学卒者の採用充足状況

新規学卒者(第2新卒者、中途採用者を除く)の採用充足状況は、「山梨県」では技術系 93.9%・事務系 95.2%となっている。内訳をみると、「高校卒」では技術系 94.6%・事務系 100.0%、「専門学校卒」では技術系 90.0%、事務系 100.0%、「短大(含高専)卒」では事務系 100.0%、「大学卒」では技術系 100.0%、事務系 88.9%となっている。「大学卒」技術系、「高校卒」、「専門学校卒」及び「短大(含高専)卒」事務系で採用人数を計画通り採用できている。

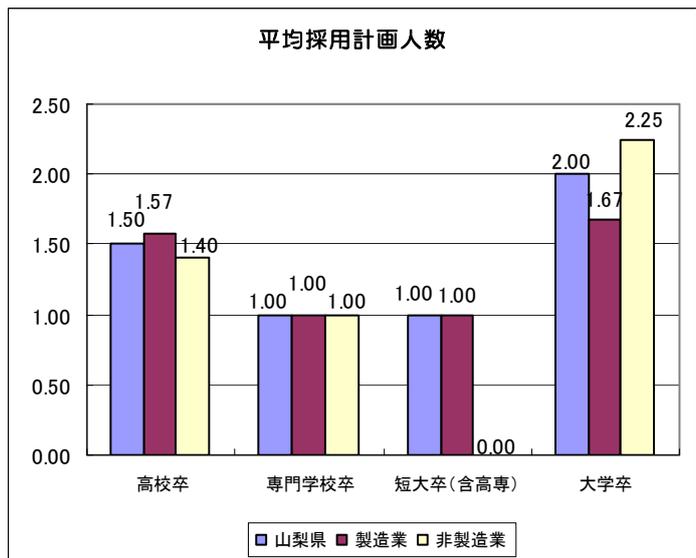
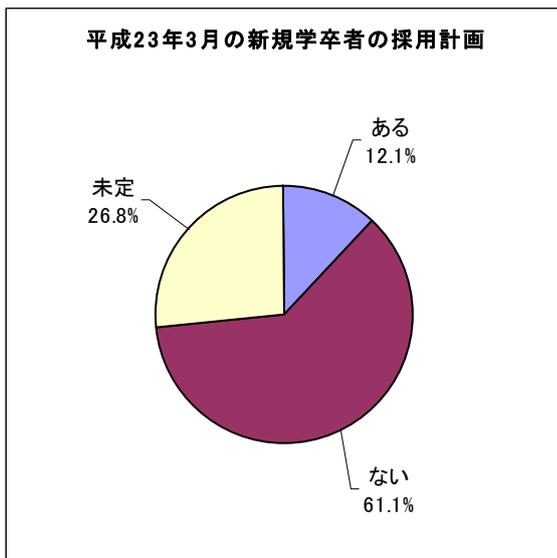
新規学卒者の採用充足状況

学 卒	職 種 系 統	採用計画人数	採用実績人数	採用充足率(%)
山 梨 県	技 術 系	49	46	93.9
	事 務 系	21	20	95.2
高 校 卒	技 術 系	37	35	94.6
	事 務 系	6	6	100.0
専 門 学 校 卒	技 術 系	10	9	90.0
	事 務 系	4	4	100.0
短 大 (含 高 専) 卒	技 術 系	-	-	-
	事 務 系	2	2	100.0
大 学 卒	技 術 系	2	2	100.0
	事 務 系	9	8	88.9

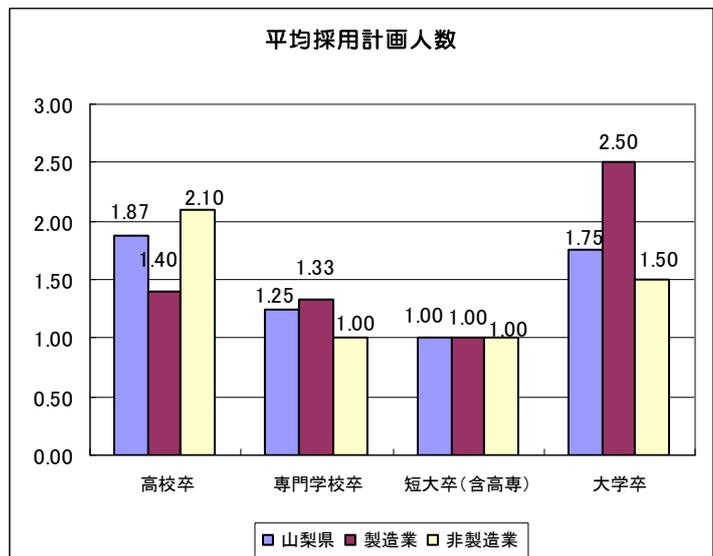
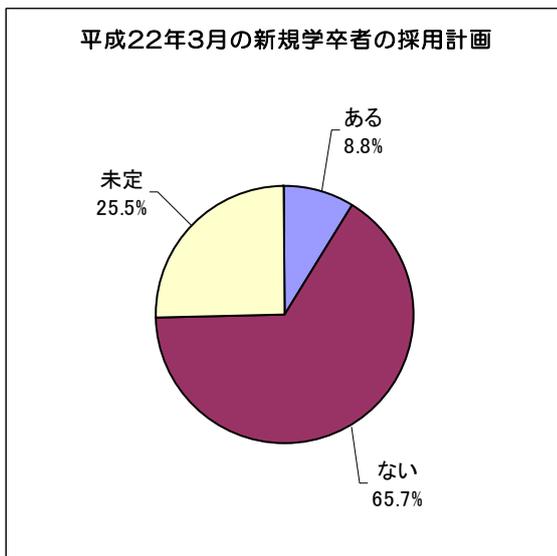
(3) 平成 23 年 3 月新規学卒者の採用計画

平成 23 年 3 月の新規学卒者(第 2 新卒者、中途採用者を除く)の採用計画は、「ある」と回答した事業所は 12.1%となり、昨年に比べ 3.3 ポイント増加した。「ない」と回答した事業所は 61.2%、「未定」と回答した事業所は 26.8%となった。平均採用計画人数では、「高校卒」では 1.50 人、「専門学校卒」では 1.00 人、「短大卒(含高専)」では 1.00 人、「大学卒」では 2.00 人となっている。

平成 23 年 3 月新規学卒者の採用計画



参考：平成 22 年 3 月新規学卒者の採用計画

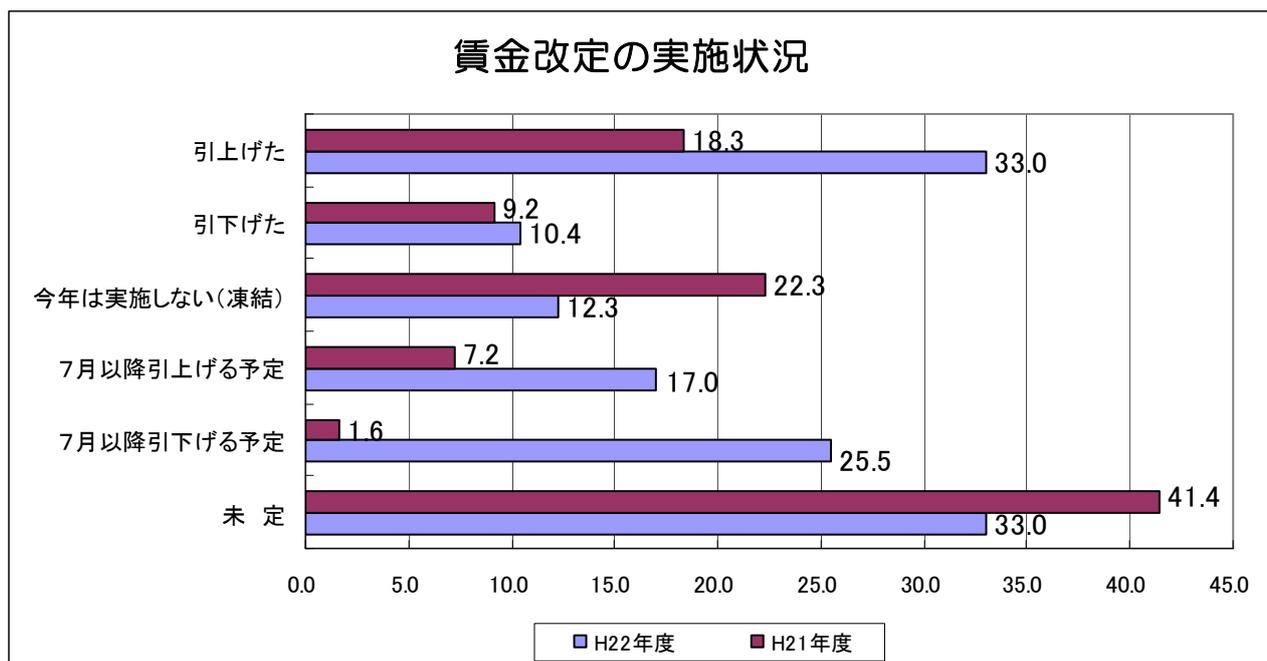


8. 賃金改定について

(1) 賃金改定の実施状況

平成22年1月1日から7月1日までの間の賃金改定の実施状況は「引上げた」が25.4%、「引下げた」が4.5%、「今年実施しない(凍結)」が33.0%、「7月以降引上げる予定」が6.3%、「7月以降引下げる予定」が0.9%、「未定」が29.9%となっている。昨年度と比べると、「引上げた」が7.1ポイント増、「引下げた」が4.7ポイント減、「今年実施しない(凍結)」が10.7ポイント減、「7月以降引上げる予定」が0.9ポイント減、「7月以降引下げる予定」が0.7ポイント減、「未定」が11.5ポイント減となっている。

この結果、長引く景気低迷などにより、賃金改定を見据えている企業の割合が多くを占めていることがわかった。



(2) 平均賃金及び賃金改定額(単純平均)

賃金改定を実施した事業所の改定後の平均賃金は269,382円、平均昇給額は1,022円、平均昇給率は0.34%となっている。対象回答数138事業所での結果ではあるが、改定後平均賃金が改定前平均賃金を上回っており、結果として平均昇給率が0.34%となった。平均昇給率は昨年に比べ1.19%増加した。業種別では、製造業に比べ非製造業での平均昇給率が2倍近く悪くなっている。規模別では、従業員「100～300人」の企業の平均昇給率が唯一のプラスとなっている。また、従業員数「1～9人」の零細企業に比べ、従業員数「10～29人」及び「30～99人」の中小企業の平均昇給率が悪くなっている。

賃金改定前後の平均賃金、平均昇給額及び平均昇給率(単純平均)

	改定前平均賃金	改定後平均賃金	平均昇給額	平均昇給率
山 梨 県	268,360	269,382	1,022	0.34
製 造 業	263,833	266,865	3,032	1.15
非 製 造 業	273,443	272,209	-1,234	-0.45
1 ～ 9 人	267,597	266,084	-1,513	-0.57
10 ～ 29 人	267,025	268,276	1,251	0.47
30 ～ 99 人	266,670	270,706	4,036	1.51
100 ～ 300 人	295,154	297,480	2,326	0.79

